

**超音波式放電探知器
リークホン
LH - 100**

**取扱説明書
(第5版)**

- S O U K O U -

本社,工場 〒529-1206 滋賀県愛知郡愛荘町蚊野 215
TEL 0749 37 3664 FAX 0749 37 3515
東京営業所 〒101-0023 東京都千代田区神田松永町三友ビル6F
TEL 03 3258 3731 FAX 03 3258 3974

営業的なお問合せ : sell-info@soukou.co.jp
技術的なお問合せ : tec-info@soukou.co.jp
URL : <http://www.soukou.co.jp>

目次

安全にご使用いただくために.....	2
1. 『LH - 100』の特徴	3
2. 仕様.....	3
3. 各部の名称と説明.....	4
4. 測定方法.....	5
5. 外形図.....	6

安全にご使用いただくために

安全にご使用いただくため、測定装置をご使用になる前に、次の事項を必ずお読み下さい。
また、仕様に記されている以外で使用しないで下さい。
試験装置のサービスは、当社専門のサービス員のみが行えます。
詳しくは、(株)双興電機製作所にお問い合わせ下さい。

使用上の注意について

- ・本器は高圧用のため、AC7000Vを超える特高電路に対しては、危険ですので使用しないで下さい。
- ・被測定物には高電圧が印加されているため、測定の際は感電に充分注意して下さい。
- ・伸縮棒を縮めて使用する場合は、必ず高圧用絶縁手袋を着用して下さい。

機器の取扱いについて

- ・本器を被測定物に直接接触することは、絶対にしないで下さい。
- ・低・高温での使用はしないで下さい。ハウリングなどの誤動作の原因となります。
- ・むやみに電源スイッチのON/OFFを繰り返さないで下さい。
- ・保管及び携帯される場合は、付属のケースに収め、振動・衝撃をできるだけ与えないで下さい。
- ・長期間使用しない時は、電池BOXから電池を取り出して下さい。液もれによる腐食の原因となります。

機器の保管場所について

- ・直射日光は避けて下さい。
- ・低・高温は避けて下さい。(0 ~ 40)
- ・湿度が高い所は避けて下さい。(10 ~ 85 %)
- ・振動の激しい所は避けて下さい。

電池の取扱いについて

- ・電源ランプが点灯しない場合又は、測定していなくてもレベル表示ランプが点灯し、スピーカから音が鳴る場合は、電池の消耗が考えられます。新しい電池に交換して下さい。
- ・電池は極性を間違わないよう、電池BOXの中に刻印されている向きに合わせて入れて下さい。
- ・本体が濡れている状態で電池BOXのフタを開けることは絶対にしないで下さい。
- ・電池は新しい物と古い物を混ぜて使用しないで下さい。
- ・電池は使用推奨期限内の物を使用して下さい。

故障と思われる場合は、必ず(株)双興電機製作所または、販売店までご連絡下さい。

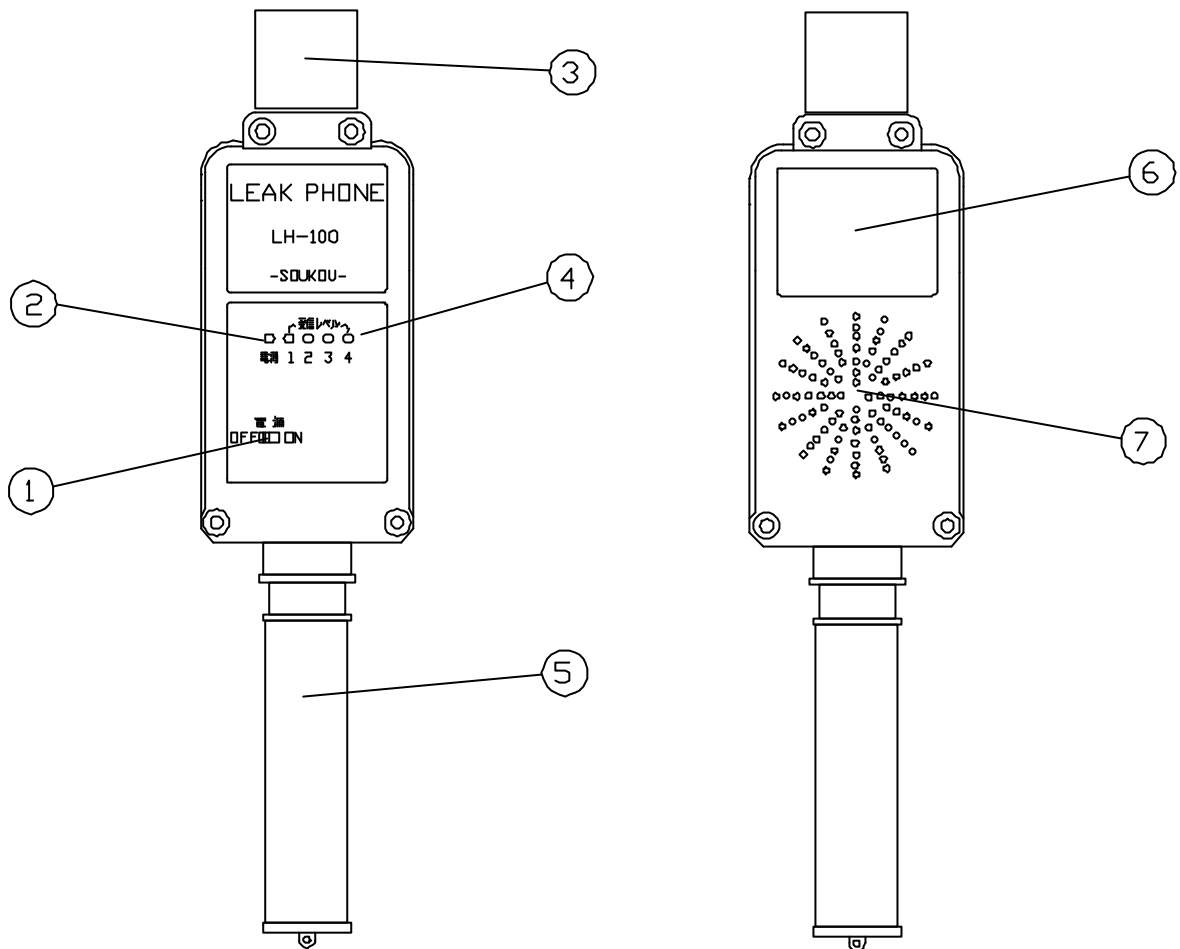
1. 『LH-100』の特徴

- (1) 小型、軽量なので携帯に大変便利です。
- (2) グリップが伸縮できるので、安全かつ容易に絶縁不良箇所の探査が行えます。
- (3) 超音波受信専用に設計しているため、高圧機器等の接触不良・絶縁不良箇所から発生する放電に伴う超音波音を逃しません。
- (4) ランプにより測定レベルを表示し、受信した放電音を可聴範囲に変調し、スピーカで出力しますので、放電箇所と大きさを容易に判定することができます。

2. 仕様

- (1) 使用電源 : DC 4.5 V (単4乾電池×3本)
- (2) 受信周波数 : 40 kHz
- (3) 指向特性 : 約20°以内 (-3dB)
- (4) 消費電力 : 4.5 V / 30 mA以下 (無信号時)
- (5) 内蔵電池寿命 : 連続使用時間 約24時間 (使用温度20 時)
- (6) 使用温度範囲 : 0 ~ 40 (但し結露がないこと)
- (7) 使用湿度範囲 : 10 ~ 85% (但し結露がないこと)
- (8) 外形寸法 : 67 (幅) × 32 (厚み) × 286 (長さ)
(伸長時) : 67 (幅) × 32 (厚み) × 940 (長さ)
- (9) 重量 : 295 g (電池含む)
- (10) 付属品
 - ・ 本体収納ケース..... 1 個
 - ・ 単4乾電池 (電池BOX内収納済)..... 3 本
 - ・ 取扱説明書 (本書)..... 1 部

3. 各部の名称と説明



電源スイッチ

本器のメインスイッチです。

電源ランプ

電源スイッチが“ON”状態の時点灯します。

受信センサ

放電音の受信部です。

レベル表示ランプ

受信レベルの表示ランプです。

伸縮棒

本器と被試験物との間に距離があり、放電音を受信しにくい場合に伸ばして使用します。

電池BOX

電池（単4乾電池×3本）を収納するボックスです。

スピーカ

受信した放電音を可聴範囲に変調し出力します。

4. 測定方法

1. 本器の電池BOXに乾電池（単4乾電池×3本）が収納していることを確認して下さい。
2. 電源スイッチを“ON”状態にして下さい。この時、電源ランプが点灯します。
* 電源ランプが点灯しない場合又は、測定していなくてもレベル表示ランプが点灯し、スピーカから音が鳴る場合は、電池の消耗が考えられるため、新しい電池に交換して下さい。
3. 機器の動作を確かめるために、受信センサの前で指を軽く擦り合わせて下さい。この時、レベル表示ランプが点灯し本体裏面のスピーカより摩擦音が出力します。
* レベル表示ランプが点灯せず摩擦音が出ない場合は、機器の不良が考えられます。
4. 受信センサを被測定物のある方向に向け、本器と被測定物との距離を1～2mにして下さい。
被測定物に近づけない場合や高所の場合は、伸縮棒を伸ばして下さい。
* 伸縮棒は長さの調節ができないため、完全に伸ばした状態か縮んだ状態で使用して下さい。

****注意****

- ・ 被測定物には高電圧が印加されているため、測定の際は感電に充分注意して下さい。
- ・ 本器を被測定物に直接接触することは、絶対にしないで下さい。
- ・ 伸縮棒を縮めて使用する場合は、必ず高圧用絶縁手袋を着用して下さい。

5. 被測定物に対して上下左右に受信センサの向きを変え、レベル表示ランプの点灯の変化または、スピーカから出力する放電音の変化をチェックします。
レベル表示ランプが最大表示され、スピーカからの放電音が大きく鳴る所が絶縁不良の推定箇所となります。
6. 絶縁不良の推定箇所が判別しにくい場合は、本器と被測定物との距離をできるだけ近づけて下さい。

伸縮棒が縮んでいる状態での測定	本器と被測定物との距離を0.5m以下にしないで下さい。
伸縮棒が伸びている状態での測定	伸縮棒により絶縁されているため、本器と被測定物との距離が0.5m以下になっても安全に測定が可能です。 ただし、被測定物には絶対に接触させないように注意して下さい。

7. 測定が終われば電源スイッチを“OFF”にして下さい。

5 . 外形図

